

北アルプスのふもとにひびく

品川 聖 *Hijiri Shinagawa*

ヴァイオラ・ダ・ガンバ ソロコンサート

いにし うるわ  
～古えの美しき音につつまれて～

2014年6月7日(土)

午後2時 開演

Cafe プレイエル 喫茶ホール

3,000円 要予約

(30名様限定 茶菓子付)

主催 問合せ

同店 TEL 0263-92-8158



program

- T. ヒューム (1579頃-1645) :  
「エア集第1巻」(1605年)より、  
パヴァーヌ、グッド・アゲイン
- J. シェンク (1660-1716以降) :  
「ドナウ河のこだま」Op. 9より、ソナタ第6番
- J.S. バッハ (1685-1750) :  
「6つの無伴奏チェロ組曲」より、組曲第1番 BWV 1007  
- 休憩 -
- C.F. アーベル (1723-1787) :  
「ガンパのための27の小品」より、WKO 189, 194
- ドゥマシ (17世紀後半活躍) :  
「ヴィオール曲集」(1685年)より、組曲第4番
- M. マレ (1656-1728) :  
「ヴィオール曲集 第4巻」(1717年)より、  
アラバスク、戯れ  
「ヴィオール曲集 第2巻」(1701年)より、人間の声  
カタロニア民謡：鳥の歌

品川 聖 (Hijiri Shinagawa) プロフィール  
桐朋学園大学およびブリュッセル王立音楽院卒業。  
ヴィーラント・クイケン氏ほかに師事。留学中の  
2001年、安曇野でのソロ・デビュー以来、各地で  
コンサート活動を展開。主としてヴァイオラ・ダ・  
ガンパのソリストとして活躍。北アルプスの山小  
屋でもソロ・コンサートを継続。フィールドを歩  
く演奏家としても注目を集めている。これまでに  
3枚のソロのCDをリリース。東京古典楽器センター  
講師、日本ベルギー学会会員。東京在住。

<http://hijiri-s.com/>

ヴァイオラ・ダ・ガンパとは

フレット付きの、6弦または7弦の弓奏弦楽器。  
通常は立てて構え、両脚にはさんで演奏する。  
「ヴァイオラ・ダ・ガンパ」の名称は「脚の弦楽器」  
という意味である。ヨーロッパでは15世紀末頃に出  
現し、ルネサンスとバロック時代には最も普及した  
楽器のひとつとなり、18世紀中頃まで独奏楽器とし  
て広く用いられた。今日では  
「ヴァイオラ・ダ・ガンパ」(伊語)  
以外に、「ヴィオール」(仏語)、  
「ヴァイオル」(英語)という名称、  
あるいは「ガンパ」という  
略称も使用されている。

